

---

## 第72回北方森林学会大会プログラム

---

主催 北方森林学会  
共催 一般社団法人日本森林学会  
一般社団法人日本森林技術協会

開催日 2023年 9月27日 (水)  
会場 札幌コンベンションセンター (札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)  
連絡先 第72回北方森林学会大会事務局 Email: [nakanishiatsushi@ffpri.affrc.go.jp](mailto:nakanishiatsushi@ffpri.affrc.go.jp)

### 大会日程

9:00~	受付	(2F: 204会議室前スペース)
9:15~10:05	総会	(2F: 小ホール)
10:15~11:55	特別講演	(2F: 小ホール)
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00~14:30	研究発表 (口頭)	(2F: 207会議室)
14:30~16:00	研究発表 (ポスター)	(2F: 204会議室)
14:30~15:15	(奇数番コアタイム)	
15:15~16:00	(偶数番コアタイム)	
16:15~16:30	表彰式・閉会式	(2F: 207会議室)
18:00~20:00	懇親会	(懇親会場: 下記参照)

---

札幌コンベンションセンター (受付・総会・特別講演・研究発表・表彰式・閉会式)  
〒003 0006 札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1、TEL 011 817 1010

懇親会場: 海鮮居酒屋 遠藤水産 東札幌駅前 南郷通り店  
〒003 0002 札幌市白石区東札幌2条2丁目4番15号  
ガーデンハウス東札幌ステーション1F、TEL 050 5492 1937

第72回北方森林学会大会

大会長 | 渋谷正人 事務局 | 北尾光俊、中西敦史、生方正俊、今博計、徳田佐和子、斎藤秀之

1. 特別講演

表題 トドマツ再造林時代の到来に向けた取り組み

趣旨 北海道のトドマツ人工林は多くが主伐期を迎えている。トドマツは伐採が進まない一方、材腐朽による利用価値の低下が懸念されることから、伐期を迎えた林分の速やかな主伐とその後の再造林が喫緊の課題となっている。北海道水産林務部による20年後の植栽面積の予測では、カラマツ類は現状とほぼ変わらないものの、トドマツは現在の2倍以上に増加するとされる。安定的な苗木供給はもちろんのこと、主伐後の施業方法の選択など、再造林を成功させるための科学的根拠に基づいた手法の開発が必要である。本講演では、①道内民有林でのトドマツ人工林の造林推進の取り組み②トドマツの造林適地の予測③産地によって特性が異なるトドマツ苗木の最適な配置について講演をいただく。来たるべき「トドマツ再造林時代」を見据えて、どのような準備を進めてゆけば良いか講演者ととも考えてみましょう。

時間	氏名	所属	タイトル	
	趣旨説明	今博計	道総研林試	
10:15~11:55	演題1	小南雅誉	北海道水産林務部	北海道のトドマツ人工林の現状と取組等について
	演題2	津山幾太郎	森林総研北海道支所	トドマツの造林適地を予測する
	演題3	石塚航	道総研法人本部	産地別トドマツ苗木の植栽適地を考える
	まとめ	今博計	道総研林試	

2. 口頭発表

1件の発表時間は12分、質疑応答は3分です。それに加え、次の発表のための作業時間として5分を確保します。

発表者は次の発表の座長をしていただきます。

時間	部門	講演番号	筆頭発表者	タイトル
13:00~13:20	立地	O-1	江端一徳	気候帯が異なる森林流域における溶存炭素の流出特性の比較
13:20~13:40	造林	O-2	中西敦史	皆伐・地拵え方法が皆伐地のミズナラ稚樹個体群に与える影響
13:40~14:00	造林	O-3	吉田俊也	北海道北部の高齢級ヤチダモ人工林の長期動態
14:00~14:20	造林	O-4	小池孝良	開放系オゾン付加施設で育成したヤマナラシ属二種の虫害への反応と成長
14:20~14:30				予備

### 3. ポスター発表

コアタイムは45分です（奇数番：14:30－15:15／偶数番：15:15－16:00）。

ポスターサイズは、幅90cm×縦180cm（パネルサイズは幅90cm×縦205cm）です。

時間	部門	講演 番号	筆頭発表者	タイトル
14:30~16:00	経営	P-01	酒井明香	北海道における中間土場の拡大と流通上の機能～リードタイム減少効果に着目して
	経営	P-02	津田高明	人工林面積が小規模な市町村における林業関連属性を用いた伐採齢分布の推定
	造林	P-03	前田唯眞※	北海道産ミズナラの葉緑体ゲノム全塩基配列
	造林	P-04	生方正俊	エゾマツの球果・種子形質および種子の発芽タイミングの集団間差
	造林	P-05	松田侑樹※	奥定山溪針広混交林のトドマツとミズナラ下層木の光合成に及ぼす高温の影響
	造林	P-06	加藤一隆	アカエゾマツのジベレリン処理による着花促進 - 処理2年後の着花状況及び最適な処理時期の検討 -
	造林	P-07	谷村亮※	広葉樹資源を持続的に育成するための取組
	造林	P-08	福田陽子	人工交配で得られたカラマツ種子の特性
	造林	P-09	原谷日菜※	ミズナラ樹冠下のかき起こし：堅果の豊作年にあわせた施工が必要か？
奇数番コアタイム 14:30~15:45	造林	P-10	橋本徹	トドマツ、エゾマツ、アカエゾマツ、ウダイカンバ人工林の樹高成長に対する長期連年施肥の影響
偶数番コアタイム 15:15~16:00	造林	P-11	仲谷朗※	空の出現と関わるイタヤカエデ立木個体の生育特性
	造林	P-12	蓮井聡	岩盤地すべり斜面における植栽木の植栽後3年間の生育状況 - 北海道胆振東部地震で発生した地すべり斜面を対象として -
	造林	P-13	田嶋健人※	トドマツ樹冠における針葉の生理活動にみられる個体サイズ依存性 - mRNA-seqと遺伝子オントロジーのエンリッチメント解析による網羅的探索 -
	造林	P-14	溝口康子	台風攪乱により不均質化した森林の炭素固定回復過程
	保護	P-15	時田勝広	北海道東部・阿寒湖近傍の針広混交林に設置した防鹿柵内外における稚樹の2年間の動態
	保護	P-16	山口岳広	北米産タモ類（ピロードトネリコ・アメリカトネリコ）におけるAsh diebackの発生実態：札幌羊ヶ丘における事例
	立地	P-17	藤谷権弥※	掻き起こし地におけるアカエゾマツ種子に感染する菌類
	立地	P-18	伊藤江利子	連年施肥を受けたトドマツ・エゾマツ・アカエゾマツ壮齢林における堆積有機物の炭素窒素特性について
	利用	P-19	小長谷啓介	菌根を分離源としたセイヨウシヨウロ属菌の分離培養に適した培地の探索
	林政	P-20	嶋瀬拓也	ウッドショック前後の北海道における広葉樹丸太市場の動向
	林政	P-21	上野竜大生※	1960年世界農林業センサスを用いた道内の人工林植生履歴の可視化

※学生ポスター賞応募者 ※技術賞応募者